

2020 年度事業報告

・中部支部

支 部 長 夏原 由博*

副支部長 大窪久美子* 中嶋 和敏*

運 営 委 員 相田 明* 井上 忠佳* 今西 良共* 上田 哲男 上野 裕介 上原 三知
大野 暁彦* 大野 研 岡田 憲久* 岡村 穰 小川総一郎 奥 敬一
風間 一* 梶野 保光 加藤 博 加藤 三久 小池 敦夫* 小林 恒雄*
小林 天竜 酒井 尚裕 秀田 智彦 佐々木邦博* 水津 功 高橋 涼*
鐸 隆弘 中嶋三千男 長谷川泰洋* 藤田 若菜 水内 佑輔* 吉田 勇次*
渡邊 綱男

事 務 局 橋本 啓史* (*は常任運営委員)

開催回数 支部大会1回 運営委員会1回 常任運営委員会3回

活動報告 (1)支部活動基本方針

中部地方で活躍する専門家・研究者を中心に、相互に研鑽し自然環境保全・景観整備・都市緑化等についてランドスケープ研究の新たな展開を開始し、社会に向け発言することをめざして活動をおこなった。

(2)2020 年度中部支部大会

開催日時：2020 年 11 月 8 日

開催場所：オンライン (大会事務局 大窪久美子 (信州大学農学部))

スケジュール：7～16 日 ポスター発表

8 日 研究発表・公開シンポジウム

大会参加者：大会参加者数 72 名 (発表 10 件、ポスター発表 5 件)

2020 年度は最優秀賞 1 名、優秀賞 2 名の学生表彰を後日おこなった。

・公開シンポジウム：「生物多様性国家戦略 2012 -2020 目標年—信州から考える—」

以下の基調講演 1 件と 3 件のパネリスト講演をしていただいた。まとめは名古屋大学の夏原由博支部長。シンポジウム参加者は 42 名であった。

基調講演：「生物多様性国家戦略 2012 -2020 目標年を迎えて」

川越久史氏 (環境省鳥獣保護管理室長・前自然環境局生物多様性センター長)

パネリスト講演

① 「生物多様性ながの県戦略一改訂にむけた取組と課題」

尾関雅章氏 (長野県環境保全研究所主任研究員)

② 「信州の古民家にみる生物と文化のつながりの多様性」

井田秀行氏 (信州大学教授)

③ 「霧ヶ峰からみた生物多様性保全の課題」

大窪久美子 (信州大学教授)

(3)支部活動：

①今年度は COVID-19 感染状況を鑑み、中部支部では常任運営委員会をオンライン上で実施した。

②ランドスケープ遺産百選選定委員会も Zoom を使用したビデオ会議で 3 回実施し、再来年度に 3 巻目を発行する方向で議論した。

- ③例年は支部大会開催中に実施している運営委員会は、支部大会翌週の11月14日にZoomを使用したビデオ会議で実施し、支部総会は事前に総会資料を支部ウェブサイトに掲載し、質問期間を設けた上で、Google フォームを利用したオンライン表決を12月4日～18日に実施した。35名の方がオンラインで回答され、2議題とも全員賛成で可決したが、大会会場に来なくても参加できるオンラインにも係わらず投票数が少なく、実施方法に課題が残った。
- ④一昨年度から実施している学生デザインワークショップ「サマースタジオ」は、今年度も8月に開催を計画していたが、様々な場所から集まった学生と一緒に宿泊する行事でもあることから、今年度はCOVID-19感染状況を鑑み、中止した。
- ⑤次年度の支部大会は愛知県内での開催予定で検討している。